



# コスモス

校訓：支え合い 学び合い たくましく  
学校教育目標

「ふるさとを愛し 志をもって  
チャレンジする子どもの育成」

## くすのき しげのり さんの世界に浸る

私たちの心をひきつける数々の作品を生み出している くすのき しげのり さんを講師にお招きして人権講演会を開催できたことに大きな喜びを感じるとともに、感謝の気持ちでいっぱいです。

くすのきしげのりさんご自身による作品の読み聞かせと、くすのきさんのお話をお聞きすることができ、何とも幸せですばらしい時間でした。

講演をお聴きになった方は【講演資料】をお持ちだとは思いますが、ご講演をお聴きしながら書いた私のメモ（不十分なメモではありますが）を見ながら振り返ってみます。

### 『はるですよ』の読み聞かせ

徳島県の眉山の近くの仕事場で執筆されていること。

くすのきさんの作品は全部つながっていること（ホントにつながっていて、びっくりしました。）。

### 『おこだでませんように』の読み聞かせ

想像する力、共感する力、コミュニケーション力が大切だということ。

### 『ぼくはなきました』の読み聞かせ

みんなみんな、いいところと苦手なところがある。

あなたは将来何になりたいですか？・・・何には「職業」

あなたは将来どんな人になりたいですか？・・・どんな人には「生き方」

たくさんのヒントが、本にある。人にある。

### 『あなたの一日が世界を変える』の読み聞かせ

今日一日 子どもが、「ああ、今日一日よかったあ。」と言えば、親はうれしい。社会貢献

### 『いいな「じぶん」！』の読み聞かせ

最後に、くすのきさんは、質問はないかな？と尋ねられました。こういう場面での質問や発言はかなり勇気がいりますが、子どもたちの中からサッと手が挙がりました。質問とお答えの一部（文責：齋藤）を紹介します。

Q：本を作る時、何を考えていますか？

くすのきさん：子どもの心に届くように、大人の心にも、どんな人の心にも届くように、と考えています。

Q：なぜ、本を書こうと思ったのですか？

くすのき：高校時代から書いていて、本を作る楽しさを知りました。みなさんもお話を作ってみてください。  
作家になるのに資格はいりません。

Q：どの作品が好きですか？

くすのき：全部好き。今も、3作、シリーズで書いています。

子どもたちの質問、とてもいい質問だなあと感じました。質問してくれたおかげで、初めのお話にはなかったことを聴くこと、知ることができました。

講演会の最後に、6年生の代表の子から、お礼の言葉と花束をお贈りしました。すると、何と、何と、くすのきさんからもプレゼントを頂きました。『子ぎつねと音のなる石』というくすのきさんの作品の本でした！≪旅する音楽家・ジンは、ふしぎな女の子に出会い、石をわたされる。それは音のなる石、「カンカン石」だった・・・・・・。きれいな心をもつもの同士が、ひびかせる美しい音の物語。≫という言葉が、表紙を開いたところに書かれていました。くすのきさんからのメッセージ「財田小学校のよい子のみなさんへ 信じるということ、信じられるということ！」も書いてくださっていました。講演会の後、職員室で、引きこまれるように読み始めました。じつくりと、でも一気に読みました。心が温かくなりました。信じることのすばらしさを感じました。

お話の中に、カンカン石（サヌカイト）が登場していました。くすのきさんもお講演の中で、少し話されていました。昔はよく話題になっていた気がしたけれど、最近はカンカン石のことをあまり聞かなくなったなあと考えていたところ、次の週の水曜日、1年生の子が、「家にカンカン石あるよ。ドレミもあるよ。」（文責：齋藤）と教えてくれました。久しぶりに、カンカン石の音色を聴いてみたくなりました。

くすのきしげのりさんのご講演が、今も心の中で続いているような感じがします。ありがとうございました。

